

■ 副葬品についてのお願い

— ご葬家の皆様へ —

○故人(死亡者)が心臓ペースメーカー等の医療器具を装着されている場合は、事前に**中遠聖苑事務所**までお知らせください(医療器具によっては、火葬中に破裂や爆発するものや放射線源を含むものなど、取扱いに注意が必要なものもありますので、事前に必ずご確認をお願いします。)

○次の副葬品は、「故人のご遺骨の損傷」及び「ダイオキシン類の発生」にも繋がり、また、誠に恐縮ですが火葬炉保護のためにも、ご遠慮くださいますようお願いいたします。

◆ご遠慮いただきたい副葬品

副葬品目	考えられる影響
・プラスチック・ビニール製品 (例) ペットボトル、ハンドバック、靴、CD、おもちゃ、ゴルフボールなど 	・遺骨への焼き付き ・遺骨の変色 ・低温燃焼(ダイオキシン類の発生)
・化学繊維・カーボン製品 (例) 衣類、敷物、杖、釣り竿、ラケット、ゴルフクラブ、靴、人形、ぬいぐるみ等 	・遺骨への焼き付き ・遺骨の損傷 ・不完全燃焼(燃えにくい) ・火葬時間の延長
・ガラス製品 (例) 鏡・眼鏡・ビン類・食器类等 	・遺骨への焼き付き ・遺骨の変色
・金属製品 (例) 携帯電話(スマホ)、ラジオ、CDプレイヤー、ゲーム機器、おもちゃ(機械式)、仏像、缶類、眼鏡(※4)、腕時計、貴金属等 	・火葬炉内での爆発 ・遺骨への焼き付き ・遺骨の破損
・不燃物 (例) ドライアイス(※1)、書籍・書類(※2)、果物・野菜(※3)等 	・不完全燃焼(燃えにくい) ・火葬時間の延長 ・低温燃焼(ダイオキシン類の発生)
・危険物 (例) スプレー、ライター、電池等 	・火葬炉内での爆発 ・遺骨の破損
・その他 (例) 陶器類(※5)、入れ歯(※4)など 	・燃えない ・遺骨への焼き付き

※1 ドライアイスは燃焼を妨げますので、火葬場到着時になくなる程度にお願いします

※2 辞書・アルバムなど大型かつ厚みのある書籍類や大量の紙類などは、燃焼の妨げとなります。

※3 果物や野菜類など水分の多いものも、燃焼の妨げになります。

※4 眼鏡・入れ歯などは、お棺にではなく、骨壺にお納めするようお願いいたします。

※5 陶器類は燃えませんのでお止めください。

◎副葬品(お棺に入れる物)は燃える物です。

★ その他ご不明な点は、中遠聖苑係員におたずねください。

中遠聖苑 ☎ 0538-23-6742

(裏面へ)

◆どうしても棺の中に入れたい副葬品については、次のとおりお願いいたします。

①飲料

ビールやお酒、ジュースなど故人様が好きだった飲み物を副葬品として入れる場合、紙パックや缶・ビンの飲料は、「紙コップ」に移し替えて少量をお納めください。紙パックのものは火葬炉の中で破裂し、遺骨を傷めてしまいますので、お止めください。

②フルーツは小さく切って入れてください。

果物類は水分が多いため、丸ごと入れると爆発してしまう恐れがあります。どうしても入れたい場合は、小さく切って「紙コップ」に入れて少量をお納めください。

③書籍類は厚すぎないものを選び、少量のものを入れてください。

愛読書などの書籍類はあまりに厚すぎたり、多すぎると火葬時間が通常より長くなります。故人が生前良く愛読されていたものを厳選していただき、2～3冊をお納めください。

④衣服は燃えやすいものをお選びください。

基本的に燃えやすい綿・絹・麻などの天然素材であれば問題なく納めることができますが、ポリエステルなどの燃えにくい素材のものは、遺骨への付着や変色の原因になりますのでお止めください。

⑤おもちゃは念の為、事前にご確認ください。

おもちゃを副葬品として入れることは可能ですが、基本的に燃えにくい素材でできているもの(機械式等)が多いため、事前に葬儀社や中遠聖苑にご相談していただき、了承を得られたものをお納めください。

⑥写真は故人様だけが写っているものをお勧めします。

故人様が写っている写真(紙)を思い出の品として棺に納めることは可能です。ただし、あまりに厚すぎたり、多すぎると火葬時間が通常より長くなりますので、厳選した少量のものをお納めください。また、「まだ生きている人間の写真を一緒にいれてしまったら、その人間があの世へ呼ばれてしまう。」との迷信があるそうです、お気にされる方はお止めください。なお、副葬品にする写真に、本人以外が写っている場合は写っている人全員の了解がない限りは避けましょう。

⑦納骨で納めない又は燃えない、思い出品や愛用品を棺に納めたい際には。

納骨で納めないまたは燃えない思い出品や愛用品を棺に納めたい際には、その品をカメラで撮影した上で、プリントした写真(紙)にし、厳選した少量のものをお納めください。

●副葬品の納棺については、最小限にとどめていただきますよう、ご理解をお願いいたします。

☆故人の遺骨のために、ご理解とご協力をお願いします。